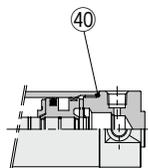
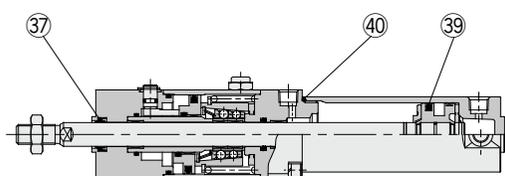


## 1 シリンダの分解

- ①シリンダは清浄な場所で分解・組付を行ってください。
- ②分解はロックユニットの交換方法(CNG-3)①～③をご参照ください。



ロングストロークの場合

- ③7 ロッドパッキンA
- ③9 ピストンパッキン
- ④0 シリンダチューブガスケット

## 2 パッキンの取外し

- ③7 ロッドパッキンA: 精密ドライバーなどを差し込み抜き取ります。  
カバーのパッキン溝に傷をつけないように注意してください。(図1参照)
- ③9 ピストンパッキン: 図2のように取外してください。
- ④0 シリンダチューブガスケット: 精密ドライバーなどで抜き取ります。

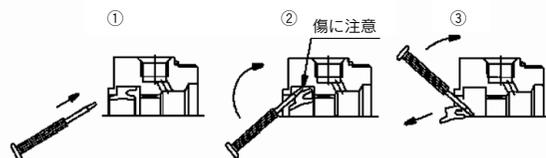


図1 ロッドパッキンの取外し

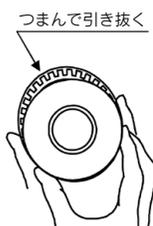


図2 ピストンパッキンの取外し

## 3 パッキン類へのグリースの塗布

- ①各パッキンの外周に薄くグリースを塗布してください。
- ②ロッドパッキンの溝部にはグリースを充填してください。



図3 パッキン類へのグリース

## 4 パッキンの装着

- ③7 ロッドパッキンA: パッキンの方向を間違えないように装着します。
- ③9 ピストンパッキン: 図5のようにパッキンを引っ張りながら装着してください。

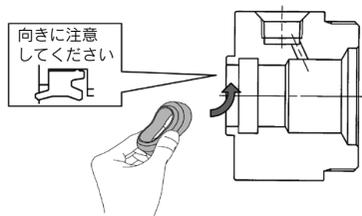


図4 ロッドパッキンの装着

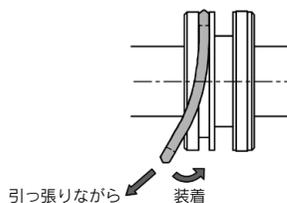


図5 ピストンパッキンの装着

## 5 グリースの塗布

- ③7 ロッドパッキンA : グリースをパッキンとブッシュ内周全体にわたって塗布してください。(図6参照)  
また、小口径の場合には、精密ドライバーなどを使って傷をつけないように塗布してください。
- ③9 ピストンパッキン : グリースを擦り込む要領でパッキン溝内部と外周に塗布してください。(図7参照)
- ③0 シリンダチューブガスケット : グリースを薄く塗布してください。
- シリンダ各部品 : 図9の各部品にグリースを塗布してください。  
100stのシリンダ1本につき表1の量のグリースが必要です。  
目安としては人差し指ですくった程度が約3gです。(図8参照)

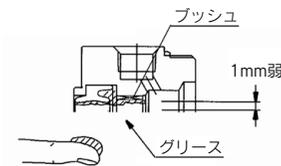


図6 ロッドパッキン

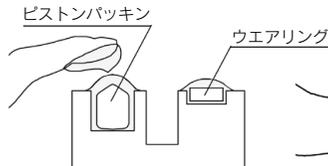


図7 ピストンパッキン

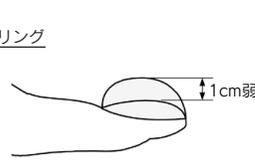


図8 グリース量

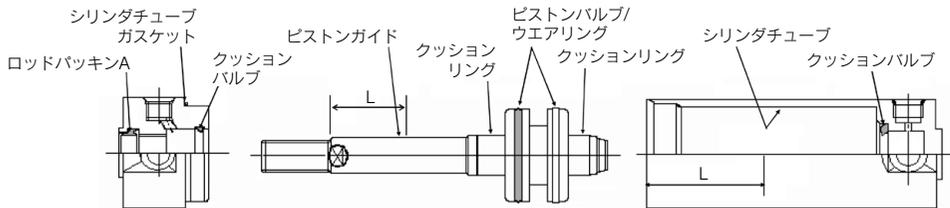


図9 グリース塗布位置

$$L = \frac{\text{ストローク}}{2} \text{ または } 100\text{mm以上}$$

表1 グリース塗布量

単位: g

ストローク	ボアサイズ			
	20	25	32	40
100ストローク時	2	3	3	3~4
50ストローク割増	0.5	0.5	0.5	1

## 6 シリンダの組立

- ① ゴミ等が付着していないかよく調べ、パッキン等を傷つけないように行ってください。
- ② カバーを元の位置(ロッドカバー側・ヘッドカバー側ポートが合う位置)より、0°~2°程度まで増締めしてください。
- ③ 組み付けが終わりましたら手でスムーズに動くことを確認してください。

## 7 交換部品

- ① CNGシリーズは、ロックユニット(ロングストロークを除く)およびパッキン(ロッドパッキンA・ピストンパッキン・シリンダチューブガスケット)の交換が可能です。
- ② 上記以外の部品の交換が必要な場合は、当社営業までご依頼ください。

アクチュエータ

モジュラ制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラ制御機器

工業用フィルタ

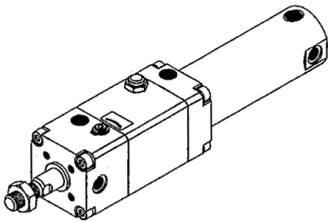
## 8 ロックユニットの交換方法

### ⚠️ 注意

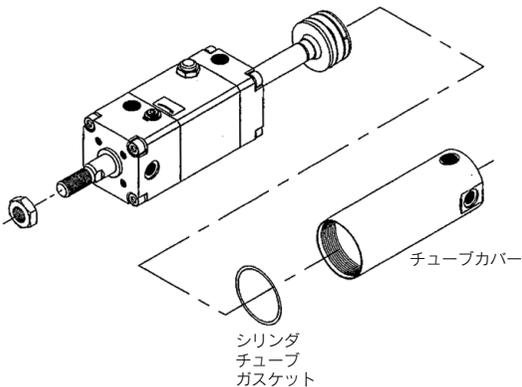
CNGシリーズはロックユニットの交換が可能です。  
(ただし、ロングストローク仕様の場合はロックユニットの交換はできませんので、ご注意願います。)

- ① ロッドカバー四角部またはチューブカバーの二面取りの部分の一方を万力などではさみ、もう一方をスパナやモンキーレンチなどを掛けてゆるませ、ロックユニットを取外します。  
四角部および二面取り部の寸法は、下表をご参照ください。

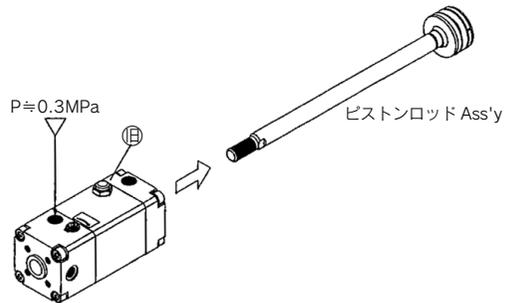
チューブ内径 (mm)	ロッドカバー四角部 (mm)	チューブカバー二面取り部 (mm)
20	38	24
25	45	29
32	45	35.5
40	52	44



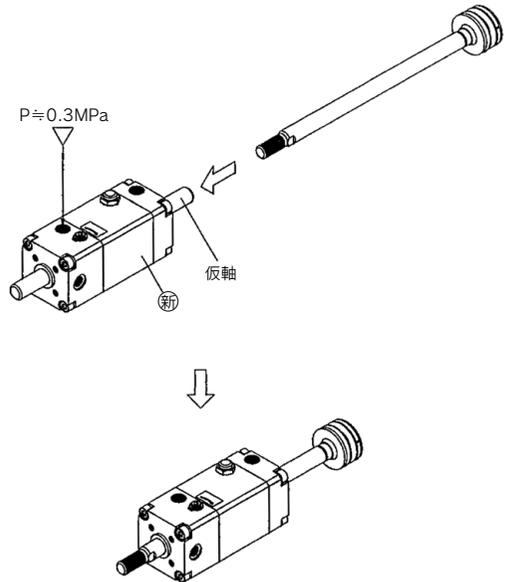
- ② チューブカバーを外します。



- ③ ロック開放ポートに0.3MPa以上の圧縮空気を加圧し、ピストンロッドAss'yを抜取ります。



- ④ 同様に新しいロックユニットのロック開放ポートに0.3MPa以上の圧縮空気を加圧し、先程のピストンロッドAss'yと仮軸とを差替えます。



注) ピストンロッドAss'yを新しいロックユニットに差替える際は、ねじ部や二面巾部分でロッドパッキンBを切らないよう、十分ご注意ください。  
新しいロックユニットの仮軸とピストンロッドAss'yの差替え時は、必ずロック開放ポートに0.3MPa以上の圧縮空気を加圧した状態のまま行ってください。  
ロックユニットより仮軸およびピストンロッドAss'yを抜いた状態でロック開放ポートに加圧している圧縮空気を排気した場合(ロック状態にした場合)、ブレーキシューが変形して、ピストンロッドAss'yが挿入できなくなり、ロックユニットが使用不能となります。

- ⑤ ②→①の逆の手順で再組立してください。  
再度締付る時は、取外した位置より2°位増締めしてください。